

## 人間

著者名：又吉直樹  
 出版者：毎日新聞出版

38歳の誕生日に届いた、ある騒動の報せ。何者かになろうとあがいた季節の果てで、かつての若者達を待ち受けていたものとは？初の長編小説にして代表作、誕生!!「変な話だが、自分が小説を書くことになるなんて想像もしていなかった子供の頃から、この物語の断片を無意識のうちに拾い集めていたような気がする」(又吉直樹)

## 死にゆく者の祈り

著者名：中山七里  
 出版者：新潮社

無二の友人は死刑確定囚だった！ 囚人に仏道を説く教誨師は、不可解なカップル刺殺事件の真相を追ううちに、真の救済の意味を知る。

## 某

著者名：川上弘美  
 出版者：幻冬舎

変遷し続ける〈誰でもない者〉はついに仲間に出会う—。愛と未来をめぐる、破格の最新長編。ある日突然この世に現れた某(ぼう)。人間そっくりの形をしており、男女どちらにでも擬態できる。お金もなく身分証明もないため、生きていくすべがなく途方にくれるが、病院に入院し治療の一環として人間になりすまし生活することを決める。絵を描くのが好きな高校一年生の女の子、性欲旺盛な男子高校生、生真面目な教職員と次々と姿を変えていき、「人間」として生きることに少し自信がついた某は、病院を脱走、自立して生きることにする。大切な人を喪い、愛を知り、そして出会った仲間たち——。ヘンテコな生き物「某」を通して見えてくるのは、滑稽な人間たちの哀しみと愛おしさ。人生に幸せを運ぶ破格の長編小説。

## 遠い他国でひょんと死ぬるや

著者名：宮内悠介  
 出版者：祥伝社

ぼくは、ぼくの手で、戦争を、ぼくの戦争がかきたい—そう書き残し、激戦地ルソン島で戦死した実在の詩人・竹内浩三。彼は何を見、何を描いたのか？ テレビディレクターの職を捨て単身フィリピンに渡った須藤は、その足跡を辿りはじめた。だがその矢先、謎の西洋人男女に襲われ、山岳民族イフガオの娘ナイマに救われる。かつて蹂躪された記憶を引き継ぎ日本人への反感を隠さないナイマだが、昔の恋人ハサンの実家を訪ねる道行きに、付添いとして須藤を伴うことに。ミンダナオ島独立のために闘ったイスラム一族の家で一時的の休息を得た須藤だったが、ハサンの家は秘密を抱えていた……。

## 湘南夫人

著者名：石原慎太郎  
 出版者：講談社

あれは 誰にも秘密 二人だけの 夢—— 豊饒な海—— 湘南を舞台に ある一族の 栄枯の美を描いた 石原文学の真骨頂 11年ぶりの文芸誌連載長篇小説 湘南に大邸宅を構え、巨大企業グループを擁する北原家。急逝した三代目の若き未亡人・紀子は、二代目の非嫡出子・志郎と結ばれ、その血脈を繋いでいる。しかし、複雑に入り組んだ一族の關係に、やがて変化の兆しがあらわれる——。

## 伊勢佐木町探偵ブルース

著者名：東川篤哉  
 出版者：祥伝社

横浜の老舗商店街・伊勢佐木町にひっそりと事務所を構える私立探偵・桂木圭一。時代遅れなスカジャンを愛用する舎弟・黛真琴を引き連れて、港町で起きる重大(?)事件の調査を生業にしている。ある日、知らぬ間に再婚していた母親の新居を訪ねると、そこは山手の大豪邸。お相手はなんと神奈川県警本部長で、しかもその息子は伊勢佐木署のイケ好かないエリート刑事だった…! やたらと現場で鉢合わせる義兄弟、このピミョーな關係一体どうなる!?

## また明日

著者名：群ようこ  
 出版者：幻冬舎

平凡なサラリーマン家庭に育った、ヤヨイ。いいところのお嬢様、ユリコ。体が大きく、心も広く優しい、マスコ。お調子者でおちょこちょいな大工の息子、カツオ。ヤヨイの隣家の息子、タカオ。同じ小学校で学んだ5人は、大人になりそれぞれの道を歩んで一度はバラバラになったが、還暦近くなって再会した。会わない間に、それぞれ大人になったところもあり、変わらないところもあり……。昭和30年代?平成の終わりまで、ささやかなようできて、いろいろあった人生を生きてきた5人の物語。誰もが自分の半生を投影できる、「普通の人」を描き続けてきた群ようこ、真骨頂の感動長篇。

## 楽園の真下

著者名：荻原浩  
 出版者：文藝春秋

最後に生き残るのは誰だ!?—気読み必至のサイエンス・サスペンス長編! 日本でいちばん天国に近い島といわれる「志手島」は、本土からは船で19時間、イルカやクジラの泳ぐコーラルブルーの海に囲まれ、亜熱帯の緑深い森に包まれている。そんな楽園で、ギネス級かもしれない17センチの巨大カマキリが発見された。『びっくりな動物図鑑』を執筆中だったフリーライター・藤間達海は、取材のため現地を訪れるが、志手島には楽園とは別の姿があった。2年間で12人が、自殺と思しき水死体で発見されており、ネットでは「自殺の新名所」と話題になって「死出島」と呼ばれていたのだ。かつて妻を自殺で失った藤間は、なぜ人間は自ら命を絶とうとするのかを考え続けており、志手島にはその取材も兼ねて赴いていた。やがて島で取材を続ける藤間の身の回りでも不審死が……。

## 罪と祈り

著者名：貫井徳郎  
 出版者：実業之日本社

著者2年ぶりの最新長編！「令和元年」必読の衝撃作！！隅田川で発生した元警察官殺し。その息子たちが突き止める、父親たちの秘密——著者2年ぶりの最新長編！「令和元年」必読の衝撃作！！元警察官の辰司が、隅田川で死んだ。当初は事故と思われたが、側頭部に殴られた痕が見つかった。真面目で正義感溢れる辰司が、なぜ殺されたのか？息子の亮輔と幼馴染みで刑事の賢剛は、死の謎を追い、賢剛の父・智士の自殺とのつながりを疑うが……。隅田川で死んだふたり。そして、時代を揺るがした未解決誘拐事件の真相とは？辰司と智士、亮輔と賢剛、ふたりの男たちの「絆」と「葛藤」を描く、夢くも哀しい、衝撃の長編ミステリー。貫井徳郎、新境地！

## たそがれダンサーズ

著者名：桂望実  
 出版者：中央公論新社

会社はもういい。定年後に何をしたらいいのだろう。妻が俺より出世した。悠々なんてくそくらえ。迷える男たちが足を踏み入れたのは、ダンスの世界！この歳にしてピギナース。これは逃避か、それとも自虐？人生の夕暮れ時を明るく照らす、はじめの一步を踏みだそう。悲喜こもごもの中年部活物語

## あきない世傳金と銀 7

著者名：高田郁  
 出版者：角川春樹事務所

大坂天満の呉服商「五鈴屋」の七代目店主となった幸は、亡夫との約束でもあった江戸に念願の店を出した。商いを確かなものにするために必要なのは、身近なものをよく観察し、小さな機会を逃さない「蟻の眼」。そして、大きな時代の流れを読み解き、商いに繋げる「鷲の目」。それを胸に刻み、懸命に知恵を絞る幸と奉公人たちが。ものの考え方も、着物に対する好みも大坂とはまるで異なる江戸で、果たして幸たちは「買うての幸い、売っての幸せ」を実現できるのか。待望のシリーズ第七弾！

## はじめての「ポイ活」応援BOOK

著者名：「ポイ活」スタート研究会  
 出版者：KADOKAWA

知らないのは損！ ポイントを貯めて賢くトクする最新情報をお届けします！今、話題の「ポイ活」。パートや副業をしなくても、自宅にいる間のスキマ時間を使って、クレカやポイントカードのポイントがざくざく貯まる。上級者になると月収20万円も夢じゃない！賢く貯めて、お得に暮らそう

## 鎌田式「スクワット」と「かかと落とし」

著者名：鎌田實  
 出版者：集英社

3年前、体重増加とともに体の衰えを痛感した僕。「スクワット」と「かかと落とし」を毎日行ったところ、体はすっきりし、体力も戻ってきた。何歳になっても身軽に動くための、がんばらない筋活。

## 世界一美味しい手抜きごはん

著者名：はらぺこグリズリー  
 出版者：KADOKAWA

美味しいのは煮卵だけじゃない！！疲れていてもこれならできちゃう！すごいかんたん、なのに美味しい料理が100個入った、忙しい私たちのためのご褒美レシピです。『世界一美味しい煮卵の作り方』が30万部突破のベストセラーとなった、はらぺこグリズリーさんの待望の第2作目。めんどうなことはしたくない、でも美味しいものが食べたいこの願望を叶えます。

## あいぼうはどこへ？

著者名：ジョシュ・ファンク  
 出版者：イマジネーション・プラス

立派なたてがみをもった2頭のライオン、フォーティテュードとパイシェンス。彼らは、ただのライオンではありません。世界でもっとも有名な、美しい図書館のひとつと言われるニューヨーク公共図書館を守る役目がある……

## おもいおも

著者名：木坂涼  
 出版者：教育画劇

リズムカルな文章に、動物のだれかがおならをするなどユーモアもたっぷり！おもいおものおもいがわかる愉快でほくほくする絵本です。